

TWO HEART

# ツウハート

2018/5/22

第47号

衆議院議員 あべ 俊子



参議院議員 たかがい 恵美子



## 看護の未来をつくる

参議院議員 石田 まさひろ

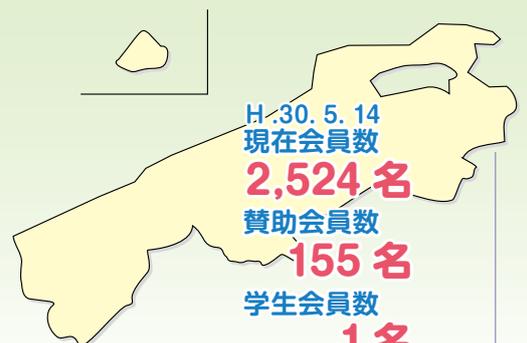


衆議院議員 木村 やよい



### INDEX

- 島根県看護連盟会長挨拶 ……2
- 地震被災お見舞い ……2
- 平成30年度 島根県看護連盟  
通常総会プログラム ……3
- 第1号議案 スローガン(案) ……3
- 第2号議案 活動計画(案) ……4
- 第3号議案 予算(案) ……5
- 第4号議案 選挙対策(案) ……5
- 第5号議案 役員選出(案) ……5
- 石田まさひろ議員の活動紹介 ……6
- 石田まさひろ参議院議員と語る会 ……7
- 「診療報酬・介護報酬改定」講演会 ……7
- 中国・四国ブロック看護管理者・  
看護教育者 看護政策セミナー報告 ……8
- 一般研修会報告 ……8
- 松江地区三支部合同研修会報告 ……9
- 中国・四国ブロック  
ポリナビワークショップのご案内 ……9
- 島根県看護連盟「優秀党組織」表彰 ……9
- 会員施設の紹介 ……10
- お知らせコーナー ……10
- 編集後記 ……10



発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 川合 政恵

〒690-0049 松江市袖師町 7-11 看護研修センター内  
TEL(0852) 27- 6361・FAX(0852) 27- 6417  
E-mail : shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp



## \* 会長あいさつ \*

島根県看護連盟 会長 川合 政 恵

薫風さわやかな季節になりました。会員の皆様には、日頃より看護連盟の活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

4月には診療報酬・介護報酬同時改定があり、一般病棟入院基本料の評価体系や看護必要度判定基準の見直し、外来看護の役割を変える入院時支援加算の新設、記録・事務作業の合理化・簡素化に向けた見直し、訪問看護の拡充・看取り体制の整備等が実現することとなりました。看護現場では質の高い看護体制、勤務環境の適正化等に向けた新しい仕組みへの対応や職員教育等に引き続いて注力されていることと思います。

さて、平成30年度島根県看護連盟総会を6月23日(土)に開催いたします。昨年7月、連盟活動を引き継ぎ、29年度事業を推し進めてまいりました。まず、組織の拡大では、看護職にとっての専門職組織活動の重要性を認識いただくために、看護現場の訪問や研修等を通じて働きかけを行い、活動への理解をいただき、新規の入会もいただきました。しかしながら、会員入会数は当初の数値目標に僅かに及ばない状況にあります。連盟活動は「数は力なり」です。次年度に向けて会員の皆様の一層のご協力をいただき組織の強化を図っていかねばなりません。

次に、政治力の強化については、現場の声を看護の議員に届け、政策実現に繋げていくための活動を行いました。現場の問題を看護政策として形につなげる、そのために重要になるのは、現場で働く看護職からの声です。石田・たかがい両参議院議員を囲んで強く要望のあった主なことが30年度診療・介護報酬の改定で実現しました。看護現場をよく理解し、省庁と何度も折衝を重ねるなど、看護政策に精通した看護職代表議員の政治力によって、看護現場の制度的環境が整えられ、現場に変化をもたらすことになったのです。

2020年はナイチンゲール生誕200年を迎えます。超少子高齢社会に対応する社会保障制度改革が進められているなかで、看護の発展と看護職が活躍できる仕組みづくりはますます重要なテーマになってきます。看護職の皆様へ、連盟活動への積極的な参加をいただき、一丸となって元気に活動を推進してまいりたいと思います。皆様のご協力をよろしく願います。

来る連盟総会では、平成30年度スローガン案、事業計画案などについてご審議いただきます。会員の皆様の総会へのご参加をお待ちしています。

来年2019年は、連盟組織にとって専門職能としての力が試される第25回参議院議員選挙が行われる年です。「石田まさひろ参議院議員を応援する会」と連携し、組織の総力をもって取り組んでいかなければなりません。

超少子高齢社会を突き進むなかであって“人々の生命・生活・尊厳を守る看護職”として、政策決定への影響力を及ぼす場所を確保するために、看護連盟の組織力を強めてまいりましょう。

引き続き会員の皆様のご支援をよろしく願います。

### 地震被災お見舞い申し上げます

4月9日に発生しました県西部の地震で被害にあわれました皆様へ心よりお見舞い申し上げます。自宅が被害を受けながらも看護活動に就かれ、ご苦労の日もあつたのではないかと思います。一日も早い復旧をお祈りしております。

看護職の国会議員さん、他県看護連盟の皆様よりお見舞いの言葉をいただいております。看護連盟の災害見舞規定により、見舞金を支給することになっております。該当される会員がありましたら、支部長を通して島根県看護連盟に提出してください。

平成30年度  
看護連盟会員  
募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

— お問い合わせ —

TEL (0852) 27-6361 FAX (0852) 27-6417

E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

# 平成 30 年度 島根県看護連盟通常総会プログラム

日 時：平成 30 年 6 月 23 日（土）

場 所：パルメイト出雲



通常総会プログラム

12:00	開 場 受 付
12:55	オリエンテーション
13:00	開 会 挨拶
13:10	来 賓 祝 辞 来 賓 紹 介 祝 電 披 露
13:40	議 長 団 選 出 報 告 事 項 I. 平成 29 年度 島根県看護連盟通常総会報告 II. 平成 29 年度 日本看護連盟主催会議報告 III. 平成 29 年度 中国・四国ブロック協議会 活動報告 IV. 平成 29 年度 島根県看護連盟 事業報告 V. 平成 29 年度 島根県看護連盟 決算報告 VI. 平成 29 年度 島根県看護連盟 監査報告 審 議 事 項 I. 第 1 号議案 平成 30 年度 スローガン(案) II. 第 2 号議案 平成 30 年度 島根県看護連盟 事業計画(案) III. 第 3 号議案 平成 30 年度 島根県看護連盟 予算(案) IV. 第 4 号議案 第 25 回参議院議員選挙対策(案) V. 第 5 号議案 島根県看護連盟 役員選出(案) 議 長 団 解 任 平成 30 年度 日本看護連盟通常総会代議員報告 新 役 員 紹 介 綱 領 宣 言 日本看護連盟の歌斉唱
16:00	閉 会

## 特別講演「国政報告」

○講 師：衆議院議員 あべ 俊子 氏

○時 間：14:15～15:15 頃の予定



第 1 号議案

平成 30 年度 スローガン (案)

**「ベッドサイドから政治を変える！」**

～ 一人ひとりが成熟・自律した活動をする ～

第2号議案

平成30年度 島根県看護連盟事業計画 (案)

- 重点目標 : 1. 組織力の強化を図り集票力のある組織をつくる  
2. 看護政策を実現できる政治力を持つ

項目	目標	活動	内容・方法 (活動推進方法)
組織力の強化	会員数の増 平成30年度 会員数目標 2600名 賛助会員目標 200名	会員・特別会員の入会促進 継続会員の定着	会員獲得活動の継続、退職者への継続加入の働き掛けを行う 情報提供 (ツーハート3回/年、ホームページなど) をする 研修会 (基礎研修、ミニ集会、施設内研修など) を行う
		連盟非会員の入会促進	入職時に連盟入会案内の配布・活動の説明を施設担当者に依頼する 未加入施設への働き掛け (施設訪問、研修案内など) を行う
		賛助会員、学生会員への入会促進	看護職OB、知人、親族、議員等へ連盟入会の働き掛けを行う 看護学校訪問をする ポリナビワークショップ等の参加の働き掛けを行う
		看護管理者、看護教育者の連盟活動への理解促進	施設訪問をする 看護管理者研修への参加促進を図る 他県の会員との交流会を持つ (中四国ブロック看護政策セミナーへの参加) 中四国ブロック看護政策セミナー参加者のフォローアップをする
	県、支部活動の活性化	施設幹事、リーダー (部署連絡員) の複年次で育成	可能な範囲で役割を継続してもらう 県、支部、施設内、部署内で役割遂行に向けてサポートする 支部単位または地区単位での施設幹事等の交流会を定期的 (3~4カ月ごと) に開催する
		若手会員の育成	千鳥・阿国以外の支部はできるだけ若者1名を幹事に置く 施設内での青年部活動 (ミニ研修、仲間作り) をする ポリナビワークショップ、研修会への参加促進を図る
		日本看護連盟と県連盟、支部との連携	定期的会議を開催する、適宜情報交換する 支部活動の目標管理、活動評価を適時行う
		研修会参加後のフォロー	支部・施設内で研修会参加後に報告する場を持つ
	看護協会や他団体との連携強化	県、看護協会、県看護連、他団体等との連携	定期的に県看護協会との情報交換、意見交換の場を持つ 支部毎に協会と連盟の連携を図る 連盟活動への支援団体との連携を図る
	集票力の強化	組織連携の強化	施設訪問や支部毎の交流会で連携を図る 県と支部で後援会活動計画を立てて行動する 看護協会や他団体の支援を得る
政治力の強化	看護政策に関する議論の活発化	看護問題解決のための活動	会員が現場の声をきく場や情報交換の場を持つ 看護協会や会員らと情報を共有する 看護問題検討委員会を設置し、問題解決に向けて看護政策を検討する 議員との意見交換の場を持つ 看護問題議員連盟に要望書を提出する
		看護職の政治参画意識の向上	政治との関連性を学べる研修会を企画する 国会見学する
	看護職代表の国会議員の活動支援	看護職代表の国会議員の活動状況を周知	広報誌、ホームページ、研修会などで議員の活動について情報提供する 国政報告会・施設訪問・意見交換会の場をもち議員との連携を深める
	県出身の国会議員や地方議員との連携	第25回参議院議員選挙に向けて後援会活動の推進	県と支部で後援会活動計画を立てて行動する (後援会入会者数の目標を達成する)
		県出身の国会議員や地方議員との連携強化	活動報告会、後援会活動等へ参加する 連盟活動への参加を依頼する
中長期視点で看護職から地方議員候補者の育成	看護職の政治参画意識の向上		
組織の適正な運営管理	日本看護連盟と県連盟、支部との連携強化	日本看護連盟と県連盟、支部との連携強化	適時、会議や情報交換の場を持つ
	事務局の適切な運営	会員情報の適正管理、業務の効率化	
	会務・財務の適正管理	会務・財務の執行上の適正管理	事業・財務の適切な執行管理
	会員の福祉	慶弔への対応 活動中の事故への対応	規約に基づき慶弔への対応をする 活動に対する傷害保険の加入

第3号議案

平成30年度 島根県看護連盟予算(案)

(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

◇収入の部

(単位:円)

項目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	比較増 △減	備考
I 会 費	10,600,000	11,050,000	△ 450,000	
会 員 費	10,400,000	10,800,000	△ 400,000	会 員 4,000 円 / 2600 人
賛助会員費	200,000	250,000	△ 50,000	賛助会員 1,000 円 / 200 人
II 本部 助成金	11,000,000	11,000,000	0	県別会議費、会員活動費、基礎・新任支部長・リーダー等研修費、事務局・支部運営費、会費還元金、青年部運営助成金
III 預金 利息	100	500	△ 400	
IV 雑 収 入	200,000	200,000	0	広告料
当期収入合計	21,800,100	22,250,500	△ 450,400	
前年度繰越金	5,315,337	6,092,978	△ 777,641	
総 計	27,115,437	28,343,478	△ 1,228,041	

◇支出の部

項目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	比較 △減	備考
I 会 議 諸 費	3,200,000	3,200,000	0	
総 会 費	1,500,000	1,500,000	0	県総会会場費、総会要綱 他
役員会費	1,200,000	1,200,000	0	県役員会議、役員・支部長合同会議費 他
委員会費	500,000	500,000	0	青年部会、委員会費
II 事 業 費	15,350,000	14,900,000	450,000	
組織対策費	11,650,000	11,000,000	650,000	本部総会・会議、活動費、支部活動助成金 傷害保険料他
教 育 費	2,500,000	2,000,000	500,000	県主催研修会
渉 外 費	200,000	200,000	0	慶弔費 年賀状他
機関紙発行費	1,000,000	1,000,000	0	「ツアース」発行費
55周年記念事業	0	700,000	△ 700,000	
III 運営維持費	8,340,000	8,840,000	△ 500,000	
人 件 費	6,000,000	6,000,000	0	職員給与 社会保険料
需 給 費	2,340,000	2,840,000	△ 500,000	事務所借上、通信費、コピー機リース料、HP 管理料、 事務用品、消耗品 他
IV 予 備 費	225,437	1,403,478	△ 1,178,041	
当期支出合計	27,115,437	28,343,478	△ 1,228,041	

第4号議案

第25回参議院議員選挙対策(案)

第5号議案

島根県看護連盟 役員選出(案)

役 職	氏 名	再任・新任
監 事	恒 松 洋 子	再 任





## ◆平成 30 年度診療報酬・介護報酬改正

4月から新たな診療報酬・介護報酬体制がスタートしました。今回の改定では、石田まさひろ参議院議員は厚生労働委員会の筆頭理事として関係省庁と折衝を重ねて、現場の声を反映すべく取り組まれました。その活動の一部をご紹介します。

### ◎「一般病棟入院基本料 7対1」の維持

入院基本料の区分が「看護職員数」から「患者の重症度に関する実績」を基準とする体系に激変します。現場感覚からすると「7対1」でさえ少ないのに、急性期病院が看護職員の配置を「10対1」に減らす懸念が生じています。こうならないよう厳しい折衝を重ね、何とか「7対1」の基準は残せました。しかし、今後は病院ごとに、入院患者の状態に応じて看護職員数をどうするか、経営陣と説得力をもって交渉することが求められます。



### ◎外来看護の役割を変える「入院時支援加算」の新設

外来看護の役割が変わります。入院診療計画の作成や説明、看護計画の立案などを外来で行うことへの評価である「入院時支援加算」が外来の点数として新設されました。病棟看護の立場からすると入院時のプロセスが大幅に縮小します。退院調整から、退院後までを見据えた“入院調整”が外来の仕事となります。

### ◎記録・事務作業の合理化・簡素化に向けた見直し

「記録や手続きが増え、ベッドサイドケアの時間が減っている！」という声が現場から噴出しています。これに応えたく当局と折衝を繰り返しました。看護連盟の力も強くあり、これまで20年以上にわたり増加してきた記録類を合理化・簡素化の方向で見直すことが決まりました。今回が第一歩。各現場でも記録の見直しが進むことを期待しています。

### ◎療養病棟等の「夜間看護配置加算」の新設

療養病床に重症患者が急増。人工呼吸器装着や経管栄養の方も多くどこよりもケアのための人手がたくさん必要な状況となっています。“療養にも人手を！”と訴え続け、今回ようやく「夜間看護配置加算」の適用など療養病床の充実の方向に向けた改定ができました。

### ◎看取りのための環境整備を強化

終末期を豊かに過ごし切るための支援は看護の腕の見せどころ。そのための環境整備が必要です。“尊厳死”と関係する「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」が必須となります。豊かな看取りが進むことを期待しています。

### ◎訪問看護における看護職の複数名訪問、過疎地への訪問看護加算の条件緩和

訪問看護は、現実ほとんどが1人での訪問になっていますが、本来は複数のスタッフで行われるべきです。今回は複数人訪問の対象を「利用者の身体的理由」にも広げました。



さらに、過疎地の訪問看護では、移動時間がかかりかため、従来の過疎地にあるステーションからの訪問に加え、過疎地域外から訪問する際にも「特別地域訪問看護加算」の適用が拡大しました。



## 「石田まさひろ参議院議員と語る会」開催

- \* 2月18日(日)
- \* 10:00～11:30
- \* エクセルホテル東急



酷寒の続くなか、悪天候続きで東京便はフライトするのだろうか、とても気を揉んでいましたが、当日は穏やかな日和となり無事開催することができました。午後の診療・介護報酬改定説明会に石田議員の来県があり、それに併せて開催しました。看護職OB・賛助会員を中心に開催案内をし、石田議員の国政の場での活躍を応援する27名の方々に参加いただきました。

石田議員から、看護現場からの声をもとに、30年度診療・介護報酬改定について関係省庁との折衝で特に力を注いだ点や看護記録類の簡素化・合理化の方向での見直し、また働き方改革

等について国政報告がありました。

今年最大のテーマのひとつ働き方改革法案の審議が始まることについて、「昨年秋より厚生労働委員会の筆頭理事という役職をいただいております、真剣勝負が続く毎日になると思うが、しっかりと役割を務めていきたい」とのメッセージがありました。和やかな雰囲気の中、石田議員の活躍を期待し、応援する参加者の声が続きました。



<石田まさひろ議員を囲んで>



## 「30年度診療報酬・介護報酬改定」講演

- \* 講師 石田まさひろ参議院議員
- \* 2月18日(日) 13:00～16:00
- \* 島根県看護研修センター



4月には診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスの3つの報酬が改定され、スタートします。そこで、「診療・介護報酬同時改定の動向を先取りしよう」をねらいとして、看護協会・看護連盟合同研修会を開催し、107名の参加がありました。

島根県看護連盟は、昨年、病院・訪問看護ステーション・介護施設の看護職から、30年度改定に向けて現場の声を石田議員に届けてきました。“記録が多く、看護業務を圧迫する”“療養病棟の夜間看護配置を増やしてほしい”“1人の看護師等による訪問看護が困難と認められる場合、複数名訪問を加算の対象とすることを要望したい”“看護小規模多機能型居宅介護のサテライト類型の新設を要望したい”など現場からの意見が噴出しました。石田議員は厚生労働委員

会筆頭理事として関係省庁と折衝をかさねて、こうした現場の声を反映すべく精力的に取り組まれました。

## 講演内容の一部を紹介

- ◇急性期病棟の入院基本料の区分が「看護職員数」から「患者の重症度などによる実績」での評価に変わる。今回は、従来の「7対1」の基準を実質維持できる結果となる。
- ◇外来看護の役割を変える「入院時支援加算の新設」  
入院診療計画の説明、看護計画立案などを外来で行った際に加算される。
- ◇訪問看護における看護職の複数名訪問、過疎地への訪問看護加算の条件緩和
- ◇療養病棟等の夜間看護配置加算の新設
- ◇記録・事務作業の合理化・簡素化に向けた見直し
- ◇特別養護老人ホーム等におけるターミナルケアの評価の見直し

## 参加者の感想

- ・事例や実践を交えて具体的で改定の根拠もよく理解できた。
- ・変化に対して、自分たちが何を考えて現場で対応していかなければならないのかがわかった。
- ・石田議員の“看護を守る”という意思が強く感じられた。議員選出の重要性を再認識した。
- ・ベッドサイドの声を真剣に考えられている姿勢を感じた。

## 中国・四国ブロック看護管理者・看護教育者看護政策セミナー報告

平成 29 年 12 月 9 日(土)・10 日(日)、米子市ワシントンホテルで中国・四国ブロック看護管理者・看護教育者看護政策セミナーが、看護管理者・看護教育者の政治への関心を高め政策提言できる力を養うことを目的に開催されました。島根県看護連盟からは 6 名の方に参加いただきました。

■ **石破茂 衆議院議員**は、「人口減少社会の中での地方創生」と題し、島根県・鳥取県は転出超過の傾向が続き、高齢化に伴う自然現象も加わって人口が減少してきている。地方には多くの資源があり林業の持つ可能性。農産物の輸出などで一時産業の生産性を上げたりなど多くの可能性がある。地方創生は「町・人・仕事」であり、仕事があって人が集まり、活気が出る。地方のことは地方で考えていくこと、どうしたら地方が元気になるのかが重要であると、雲南市のコミュニティナースの活動を紹介された。

■ **日本看護協会 勝又浜子常任理事**は、日本看護協会の看護政策と題して、特に新人の離職率は減少傾向にはあるが、離職の一番の理由は適正能力への不安である。新人看護師現状を踏まえて、患者増の複雑化・地域包括ケアシステムに対応した看護基礎教育改革の必要性を述べられた。

■ **NPO 法人看護職キャリアサポート フリージア・ナースの会 大島敏子会長の講演**では、グループワーク「自立した組織・会員を育成する研修のあり方」を行い、医療を取り巻く環境問題、政策とは・政策決定過程等について、看護管理者の立場から意見交換を行った。

■ **石田まさひろ参議院議員**は、「働き方改革」と題し、超過勤務時間の削減、前残業の問題など、勤務環境の改善により誰もがやりがいをもって働ける環境整備などについて、具体的な目標を示して検討したいと述べられた。



■ **政策研究大学院大学 島崎謙治教授**は、「医療政策の動向と課題」と題して人口構造変容の課題とインパクト、医療と介護政策の動向と課題について講演。来年 4 月には、国民健康保険法が改正となる。地域包括ケアも市町村にゆだねられる。県や市町村に地域の実態を把握、予測でき対策が実行できる人材の配置が必然である。質の良い看護をするために、質の高い看護師を育てることが必要であると述べられた。

### 参加者の感想

■ 看護協会と看護連盟が連携して実現してきた実績を伝えていく必要性を感じた。看護部門のトップとして、看護連盟活動について理解を深め、自分の言葉で連盟活動の歴史や実績を語れるようにならないと感じた。

## 一般研修会

平成 29 年 12 月 17 日(日)に、五反分正彦氏(石田まさひろ参議院議員政策秘書)に講師を依頼し、「生活や看護と政治との結び付きを理解し、政治への関心を高める」ことを目的に、看護連盟非会員も含め幅広く参加者を募り研修会を開催しました。

五反分氏の自己紹介を兼ねた体験談から始まったお話には、政治の話は難しいというハードルもなくなり、五反分マジックにかかったように聴き入ってしまいました。

現場の声を政策として成立させるプロセスを丁寧にお話頂き、その大変さを知ると同時に、「認知症ケア加算」「看護師免許の届出制」等での石田まさひろ議員の緻密な活動が目に見えるようでした。人への関わりが深い看護の政策は国民への波及効果も大きく、石田議員の「看護の力で日本を元気にする」ということの意味合いもよく理解できました。

生活や看護と政治との繋がりを身近なこととして学ぶことが出来、元気をもらった研修会でした。



## 松江地区三支部合同研修報告

松江支部長 星野和子



平成 30 年 1 月 27 日に「看護職として働く上で子育て・WLB に関する問題や工夫の情報を共有する」ことを目的に研修会を開催しました。当日は雪模様でしたが 37 名の参加がありました。

「こんなふうに働きたい」というテーマを、リラックスしてより多くの人と意見交換できるようにと考え、ワールドカフェの形式で行いました。幅広い年齢層でしたが、それぞれの立場でのさまざまな意見が聞け、また話しやすかったと好評でした。



アンケート結果でも満足度は高く、研修前に看護連盟への関心が低かった人も研修後は高くなり、連盟の必要性を考えられていました。

米田とき子松江市議会議員から議員活動を直接聞き、政治を身近な事として捉えられる機会になりました。

## 若者よ！『中国・四国ブロック ポリナビワークショップ』に集まろう！！

○開催日：平成 30 年 9 月 1 日(土)

○会 場：ホテル白鳥（松江市千鳥町）

○目 的：看護の未来を語り、若手看護師の縁(えにし)をつなぐ

### ポリナビ (Poli-Navi) って？

正式名称は Politic Navigators' Network の略です。

臨床での問題やどのような看護をしたいのかを話し合ったり、政策や政治について学んだりしながら、よりよい医療・看護を目指し、自分達にできることを考え実行しようと、2007 年に日本看護連盟の 20～30 歳代の会員が集まり、発足したネットワークです。

島根県看護連盟では 2010 年に青年部活動を始め、毎年ポリナビワークショップを開催していますので、参加された方もあると思います。

今年度は中国・四国ブロックとしての開催です。県外の若者と交流する機会になります。若手看護職が描く「看護の未来」について語りましょう。多くの方のご参加を期待しています。



## 第 85 回自由民主党大会で島根県看護連盟が 優秀党組織で表彰されました

第 85 回党大会が 3 月 25 日に東京都内のホテルで開催され、運動方針の採択や、優秀党員・党組織、友好団体、協力者などの表彰がありました。

島根県看護連盟は優秀党組織表彰、日本看護連盟は友好団体表彰を受けました。

また、島根県支部連合会は平成 28 年の党員獲得で顕著な成績を収め、党勢拡大特別表彰「金賞」を授与されました。



## 参議院合区解消を求める署名活動にご協力ありがとうございました

自由民主党島根県支部連合会が主体になって推し進められた、「参議院合区解消に向けた」署名は約 12 万 4 千人超集まり、3 月 24 日に党本部に提出されました。この署名数は県内の約 57 万人の有権者の凡そ 22%にあたります。

都道府県の代表が国政に参加できる選挙制度の実現を求め、他の合区対象県とも連携が図られています。



## (有)ホットケアセンター

代表取締役 山根 優子

弊社は浜田市の中心部から西郊外へ車で10分程の所にあります。平成16年に創設後、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援・看護小規模多機能・通所介護（短時間型リハビリ）の5つの事業を運営している会社です。

看護師21人、セラピスト8人、他介護職と事務職等、総勢68人で「質の高い温かいケアを提供する」ことを理念に掲げて在宅支援を中心に事業展開しています。

医療職が多いことの強みを生かして、医療依存度の高い方やターミナルケアの方も多く、訪問看護と看多機は24時間体制の支援です。

近年認知症で独居や老々介護の方が増えている事もあり、地域や他機関との密な連携が更に重要となっています。「連携」は訪問看護師の永遠の大テーマで、連携のありようがそのまま訪問看護とチームケアの質に繋がっているとも言えます。そのため、訪問以外の業務の中で多くの時間を費やしている状況で、泣いたり笑ったりのエピソードには事欠かない毎日です。

また介護職と看護職が自然体で協働し、刺激し合っている事が弊社が一番の特徴でしょうか。

人材確保は常に課題で、定着の促進を目指して努力していますが、なかなか在宅支援の事業所は厳しい風を感じています。「地域包括ケアの構築」の中、人材不足の現実にジレンマを感じる日々です。

介護・看護の仕事の素晴らしさをもっと伝え、若い方にも魅力を感じてもらえる職場作りが必要と思っています。その為にも、連盟の活動と支援が必要と実感しています。

皆様、浜田にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。お待ちしております。



※施設のPRの場として活用して頂ければと思います。掲載希望の施設は、島根県看護連盟までご連絡下さい。

## Information to Heart

### 【研修・行事予定】

月	日	曜日	時間	行事	場所	講師他
5	26	土	PM	第一回リーダー研修	ホテルニューウェルシティ出雲	金澤 きみよ氏
6	5	火	PM	日本看護連盟 通常総会	ザ・プリンスパークタワーホテル	
6	23	土	PM	島根県看護連盟 通常総会	パルメイト出雲	あべ 俊子氏
7	21	土	PM	一般研修会	ホテルニューウェルシティ出雲	大島 敏子氏
7	22	日	PM	一般研修会	益田地域医療センター医師会病院	大島 敏子氏
9	1	土	PM	中国・四国ブロックポリナビワークショップ	ホテル白鳥	石田 まさひろ氏

## 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛

### 良質睡眠でキラキラ輝く私に！

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ —＊

#### 睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

 **TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社**

島根営業所 ☎0120-996104 〒690-0055 島根県松江市津田町316-2



## 編集後記

新緑の季節。リフレッシュしながら職場や社会（地域）等の問題や課題を整理して提言してみませんか。看護連盟活動をより理解して頂き皆様と共に看護政策に繋がる取り組みをして行きたいと思っております。今年度も看護と政治の繋がりを多くの方々にご理解して頂けるように情報を発信します。

担当 川合、宮本、岡田、浅津